

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
E112E007		国文学概論 (Introduction to Japanese Classical Literature)							対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用	前期	木4	日本語			単独							
担当教員	氏名 安道 百合子 E-mail y-andou@oita-u.ac.jp 内線 7535															
授業の概要	古典文学作品を題材として、毎回テーマを決めて講義を行う。小・中学校の教科書にも採録される古典教材を切り口に、作品の性質や、文学史的位置づけを含めて、読解、鑑賞する。作品本文を確定したり作者を想定したりする手続きを知り、伝本による違いや出典による性格の違いなどを気にとめて、作品本文の読解や鑑賞ができるようになることを目指す。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1 古典文学を読む手続きを知り、自分なりに解釈、鑑賞して説明できる。																
目標2 古典文学と現代文化とを関係づけて比較したり紹介したりできる。																
目標3 異なる解釈を比較して、批評し、自分なりの解釈を説明できる。																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)									6	2	2					
授業の内容																
1 時代と作品、どのくらい説明できますか？																
2 千年前の作品をなぜ読めるのか。紀貫之と藤原定家。																
3 『古今集』の歌の特徴・『新古今集』の歌の特徴																
4 伝えるということー写本・版本・活字本																
5 『竹取物語』ー文法がわかると物語が生き生きとする																
6 『竹取物語』ーファンタジーの舞台裏																
7 オモテとウラの話ー『伊勢物語』と『大和物語』																
8 『伊勢物語』二条后章段																
9 かきつばたー和歌の工夫と文化芸術																
10 真実はどれだ？ ある日の道綱母と兼家の対話																
11 「春はあけぼの」の季節観																
12 『枕草子』の類聚章段																
13 『無名草子』の価値観一月には何が見えるのか																
14 災害文学としての『方丈記』																
15 『方丈記』に学ぶ最先端の知恵																
ラーニング コンテ ンツ グ	A:知識の定着・確認		毎回テーマを定め、学生同士で意見交換をしたり、小レポートを課します。				工 夫 そ の 他 の	Moodleの活用。								
	B:意見の表現・交換															
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		次回予定に基づいて、本文の読解を行なう。古語辞典を引き、文法的に説明できるようにして、現代語訳をするなどの予習を行なう(15h)。													
	事後学修		授業内で扱った題材に関連する書籍を読んで、興味関心を広げる(30h)。													
	想定時間合計		45													
教科書		テキストを定めず、適宜資料を配布する。														
参考書		『高校生からの古典読本』(平凡社、2012、ISBN9784582767766) ビギナーズクラシックス日本の古典シリーズ(角川ソフィア文庫)ほか。適宜紹介する。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	授業中の発言	10%										
	授業時後の小レポート	30%										
	期末レポート	60%										
注意事項	Moodleを確認して積極的に予習に取り組んでほしい。											
備考	古語辞典、国語便覧、そのほか高校時代の古典の教科書・参考図書などを準備しておくとい。											
リンク												
	URL											